

第14回
学術集会

「日本の支援者はソーシャルペダゴジーを
どう学んでいるか？」

■前半■ 13時～15時

基調講演

日本訪問体験から
考えたこと

イアン・ミリガン

Ian Milligan

ストラスクライド大学名誉研究員
(ソーシャルワーク・社会政策学科)

■会期■

2025年7月19日 (土)

13時～18時

(受付：12時30分～)

■開催・参加方法■

オンライン

会員の場合：参加費は無料です。参加登録後視聴用ID
をお送りいたします

非会員の場合：参加登録をしていただき、参加費の
お振込確認後、視聴用IDをお送りいたします。
団体参加も可能ですので、学会HPをご覧ください。



イラスト提供 ふわふわ。り

■後半■ 15時～18時

シンポジウム

日本でソーシャルペダゴ
ジーを学び・教えるには

企画者 益田 啓裕

シンポジスト

伊藤 嘉余子 (大阪公立大学)

檜原 真也 (児童養護施設子供の家)

益田 啓裕 (追手門学院大学)

コメンテーター

イアン・ミリガン

<参加申込>



■申込方法：大会事務局宛に、以下の内容を明記の上お申込みください。

①お名前、②職種、③ご所属、④メールアドレス、⑤電話番号

⑥会員・非会員の別 ※団体参加可能です (詳細は学会ホームページへ)

■申込先：左記QRコードを読み取り必要事項をご入力ください。

学会ホームページからもお申し込み頂けます (裏面)。

団体申し込みは学会ホームページからお申込みください。

■参加費：学会員 無料／非会員 3,000円

■振込先：ゆうちょ銀行 〇二九店 当座 0105374

日本ソーシャルペダゴジー学会第14回学術集会のご案内

日本の支援者はソーシャルペダゴジーをどう学んでいるか？～研修と実践のこれから～

近年、日本でもソーシャルペダゴジー（SP）への関心が高まり、実践に向けた研修の機会が増えています。その一環として昨年は、スコットランドでSPトレーニングに長年携わってきたミリガン氏を招き、日本の実践者向けのワークショップが開催されました。今回は、まずミリガン氏に、日本でのワークショップを通じて感じたことや考えたことについて講演いただきます。続いて、昨年のワークショップに参加した方々から、そこでの学びや、その後のSP実践に関する体験について報告していただきます。さらに、日本でSPを教える立場の方々をシンポジストとして迎え、日本におけるSP研修の工夫点や課題点について報告し、ディスカッションを行う予定です。これらの講演、報告、そしてシンポジウムを通じて、日本でSPが実践としてしっかりと根付くためには何が必要なのか、特にSPのトレーニングや学びのあり方という点に焦点を当てながら、議論を深めていきたいと考えています。

< プログラム >

12:30 受付開始

13:00 開会 理事長挨拶

基調講演（録画配信）

日本訪問体験から考えたこと

イアン・ミリガン Ian Milligan

ストラスクライド大学名誉研究員（ソーシャルワーク・社会政策学科）

休憩

15:00 シンポジウム（ライブ配信）

日本でソーシャルペダゴジーを学び・教えるには

企画者 益田 啓裕

①2024年ソーシャルペダゴジー泊研修会の参加者の体験報告

②日本でのソーシャルペダゴジーの教え方（実践報告・ディスカッション）

シンポジスト

伊藤 嘉余子（大阪公立大学）

檜原 真也（児童養護施設子供の家）

益田 啓裕（追手門学院大学）

コメンテーター

イアン・ミリガン

17:45 まとめ

18:00 閉会

配信への参加方法

・受付時間になりましたら、あらかじめ配布しております視聴用IDよりご参加ください。

学会HPからも参加登録できます

下記QRコードを読み取るか、URLを入力いただき学会HPへお入りください。

<https://www.social-pedagogy.jp/>



HPからの参加登録方法
トップページから【第14回学術集会】
の案内へとお進みください。

当日のオンライン参加
当日のオンライン参加は受け付けており
ません。あらかじめご了承ください。